

令和3年12月28日（火）

「 第27回定点観測を行いました 」

12月5日（日）に、復興研究会で第27回定点観測を行いました。2013年より年に3回、同じ場所を同じ角度から撮影するこの活動は、今回で9年が経過しました。

午前には、いつも定点観測に協力をしていただいている方や本校OGのパネルディスカッションを行いました。普段の活動ではなかなかじっくり話すことのできない、それぞれの思い出の場所や印象に残っている地点などを語り合いました。生徒たちも、幼いころの記憶をたどりながら耳を傾けていました。



午後には、21名の生徒が8つの班に分かれて定点観測を行いました。初めて参加した生徒も多い中、過去の写真を手掛かりに、試行錯誤をしながら町の変化を記録しました。震災前の写真と見比べ、改めて町の変化を実感した一日でした。



「津波伝承館で防災紙芝居を発表しました」

12月19日（日）に、陸前高田市にある東日本大震災津波伝承館にて「防災紙芝居」を上演しました。今回、企画展示「いわての復興教育－復興・伝承の担い手として－」に復興研究会の取り組みの紹介パネルが展示されているほか、関連事業として3本の紙芝居を上演しました。



会場では、足を止めて見に来てくださった来館者のほか、「防災・震災伝承紙芝居」を制作している高田第一中学校の生徒も足を運んでくれました。「ダンゴムシのポーズ」を一緒に実演し、発表後に交流をしました。発表後は、子どもの来館者に「防災絵本」を贈呈しました。



この企画展示は、令和4年1月9日まで開催されています。お近くまでお越しの際は、ぜひご覧ください。